



～ 校訓 ～ 「立志 善心 叡智」

～ 学校教育目標～

「学び合い 支え合い 磨き合い」
～さらなる高みを目指して～

2年生 薬物乱用防止教室実施

12月13日（金）、2年生を対象に、薬物乱用防止教室が行われました。講師は薬剤師の太田敏彦先生にお願いをしました。映像資料を使いながら、薬についての基礎知識や市販薬に潜む危険性、その他たばこ・お酒のことなど、違法な薬物以外についてもお話をしてくださいました。

実施後の生徒の感想には、「薬物乱用防止教室で改めて薬物やお酒、タバコの危険性について知ることができました。市販の薬も、用法を守らないと大変な目にあうことも知れました。」「ぼくはお酒やタバコ、違法薬物だけじゃなく、病気にかかった時に飲む医薬品にも気をつけた方がいいとわかりました。医薬品の使い方をしっかりと把握したいです。」などの感想があったほか、なかには「父がお酒を飲むので危険さをしっかり教えようと思います。」と、お父さんの体を心配する記入も見られました。父親の一人として、年末年始、お酒の席も増えますが「子どもたちも心配している」ということを忘れずに、参加したいと思ったところです。



NISHISENミニビブリオバトル開催（図書委員会主催）

12月19日（木）、朝読書の時間を少し延長し、図書委員会主催のミニビブリオバトルが開催されました。

ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームで、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国に広がり、小中高校、大学、図書館、サークルなど、広く活用されています。本来のビブリオバトル公式ルールでは、①発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。②順番に1人5分間で本を紹介する。③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。④全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。となっていますが、本校では時間短縮のため、1分間の発表、ディスカッション省略などの工夫をし進められました。

今回は、「ハリーポッターと謎のプリンス」がチャンプ本となりましたが、図書委員と発表者のお陰で、少しの時間の共有により、読書への関心が高まったと感じられました。

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものとされていますが、小・中学生までは読書をしていても、高校生になると読書をしない生徒が急増するというデータもあるようです。受験に向かって現在の3年生には「時間があったら読書をしよう」とは言いにくいところもありますが、4月の新生活が始まったら、また読書に戻ってきてほしいと思っています。



全校生徒会・体育委員会主催の「学級対抗球技大会」

保健給食委員会主催の「冬休み前 保健集会」 開催予定



12月25日（水）には、生徒会専門委員会主催の上記大会と集会が開催される予定です。ミニビブリオバトルも含めて、新生徒会の主体的な活動が本格化してきて、嬉しく思っているところです。

来る2025年も、生徒の主体性を重んじながら、さらなる高みを目指していきたいと考えておりますのでご支援のほど、よろしくお願いいたします。みなさまも、どうぞよいお年をお迎えください。